

(508) 10Cr-2Mo耐熱鋼の長時間クリープ破断強度と微視組織におよぼすV, Nbの影響

東京大学工学部 ○朝倉健太郎, 藤田利夫

1. 緒言

クリープ破断強度におよぼすV, Nbの最適添加量を2万~6万hの長時間クリープ破断強度の実測値から検討すると共に、クリープ破断強度におよぼすV, Nb量の影響、微視組織におよぼす効果を調べた。

2. 実験方法

本研究に用いた供試鋼の化学成分をTable 1に示す。Vシリーズ鋼(V1~V4)はVを0~0.2%, NBシリーズ鋼(NB1~NB3)はNbを0~0.1%の範囲で単独添加し、TFシリーズ(TF1~TF6)はVとNbを複合添加した。KKシリーズ鋼(KK1~KK4)は0.05%Nb一定にし、Vを0~0.22%の範囲で変化させた。熱処理は1050°C, 30minの焼ならし後、700°C, 1hの焼もどしを行った。

3. 実験結果

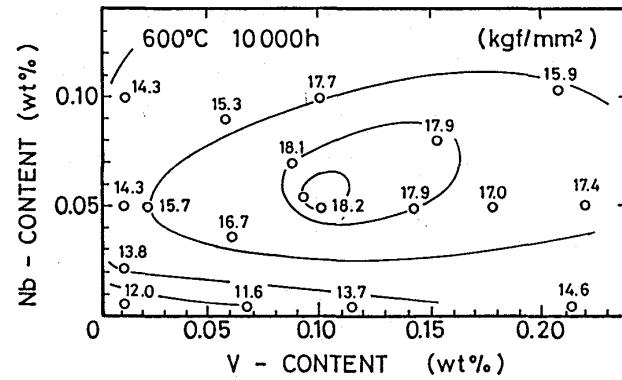
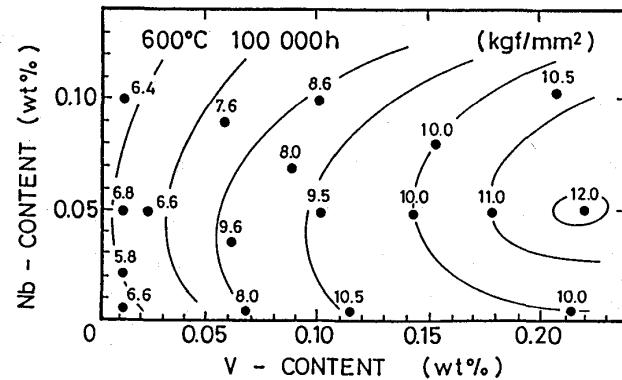
1) Fig. 1は600°C, 10⁴hの等強度クリープ破断曲線である。基本成分鋼におけるV, Nbの最適添加量は0.1%V+0.05%Nbであるが、650°C, 10⁴hでは0.18%V+0.05%Nbが最強値を示し、50°C高温ではV-richがクリープ破断強度の改善に有效地に寄与する。

2) Fig. 2は600°C, 10⁵hの等強度クリープ破断曲線である。600°Cクリープ破断強度におよぼすV, Nbの効果はFig. 1と異なり、同じ温度でも短時間側と、長時間側では合金元素の寄与が明らかに異なることを示しており、0.22%V+0.05%Nb付近が最適添加量となり、V-rich側に移行している。これに対して650°C, 10⁵hでは、10⁴hの結果とほとんど変わらない。

3) V4鋼の650°C, 8kgf/mm²(tr=5,353h)の透過電顕組織を観察すると、V2鋼で観察できなかった20~100nmの微細析出物(V(C, N))が多数みられ、転位密度も高い。この微細析出物がすぐれたクリープ破断強度を生じさせた原因と考えられる。

Table 1. Chemical Composition of Specimens used (wt%).

	C	Si	Mn	P	S	Cr	Mo	V	Nb
V 1	0.057	0.556	0.566	0.002	0.006	9.978	2.037	0.013	0.005
V 2	0.048	0.531	0.556	0.002	0.008	10.010	2.059	0.067	0.005
V 3	0.044	0.541	0.547	0.002	0.007	9.914	2.020	0.115	0.005
V 4	0.046	0.544	0.550	0.002	0.007	9.950	2.031	0.214	0.005
NB 1	0.045	0.545	0.549	0.002	0.008	9.932	2.026	0.013	0.021
NB 2	0.044	0.529	0.535	0.002	0.008	9.875	2.012	0.012	0.050
NB 3	0.044	0.522	0.549	0.002	0.008	9.907	2.014	0.025	0.103
TF 1	0.067	0.500	0.480	0.002	0.008	10.940	1.920	0.059	0.037
TF 2	0.063	0.523	0.541	0.003	0.010	9.968	2.029	0.058	0.090
TF 3	0.045	0.536	0.528	0.003	0.010	9.842	2.016	0.088	0.070
TF 4	0.066	0.520	0.500	0.002	0.007	10.900	1.950	0.154	0.080
TF 5	0.054	0.600	0.566	0.002	0.004	10.330	2.095	0.101	0.106
TF 6	0.069	0.530	0.540	0.003	0.008	11.000	1.980	0.220	0.105
KK 1	0.052	0.356	0.527	0.010	0.009	10.760	1.986	0.020	0.055
KK 2	0.052	0.572	0.539	0.002	0.005	10.240	2.090	0.143	0.057
KK 3	0.056	0.567	0.554	0.002	0.005	10.270	2.095	0.179	0.055
KK 4	0.053	0.549	0.600	0.002	0.004	10.020	2.040	0.220	0.055

Fig. 1 Equi-creep Rupture Strength Curve for 10⁴h.Fig. 2 Equi-creep Rupture Strength Curve for 10⁵h.